

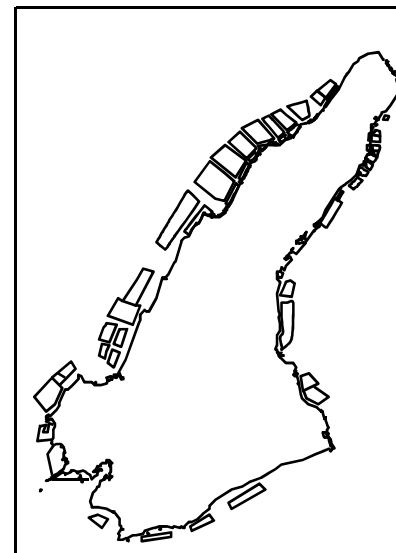
兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 11 号)

平成29年2月9日発行
兵庫のり研究所

淡路周辺海域全域において、ユーカンピアの発生量が前回 (1/27) 調査と比較し増加しており、窒素が $1 \mu\text{g at} / \text{L}$ 前後に減少しています。

(珪藻) 全域においてユーカンピアの発生量が増加している。前回調査で珪藻が比較的少なかった南淡路の各漁場においても、播磨灘に面する阿万漁場ではユーカンピアが、大阪湾に面する灘漁場ではスケルトネマ等の小型珪藻がそれぞれ増加していた。東浦海域では小型珪藻の大量発生による赤潮は見られないが、ユーカンピア (海水1mlあたり50~100細胞) 及びスケルトネマ等 (1mlあたり400細胞前後) が確認され、大阪湾全体的に栄養塩が減少している。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	5.2	1.0	3.5	2.3
	リン	0.48	0.07	0.39	0.25
西浦地先	窒素	2.4	1.0	3.2	2.5
	リン	0.41	0.11	0.44	0.35
南浦地先	窒素	3.2	0.9	3.7	2.6
	リン	0.48	0.10	0.44	0.41

(1/27)

(2/8)

栄養塩 (窒素) 図

平成29年2月8日調査

